

然も仕えき事

一公儀許法度何れもそもお背り申中にも御方  
志進する事人心中に抱重くは教遣  
目録又ハ

一公儀許法度を背りつゝのなる中ハ  
かかれ居所へ入れあつて  
公儀へ百連奉り過愈後申お猪止之を

一障乃外心中れりて御進よひ又ハ名を組取  
長百姓並一はの熱百姓は悪はれりて御に  
物子正重に控ある人持申す事

一百姓は衣敷の着布本條よふかゝるおひ  
きりりの裏も仕る事

一少は高きもあれありて承りてはけい  
やに仕る事